

一般質問一覧表

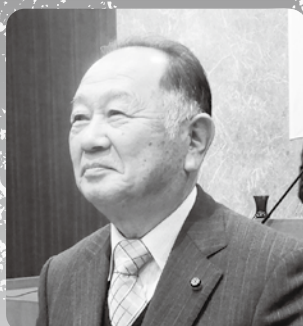
多くの
気になる
課題



市丸 勝義 議員

『SAGA2024
国民スポーツ大会について』
『地域の安心・安全について』

小川議員は
体調不良により
一般質問を
中止しました



小川 三郎 議員

『多久市のデジタル化の取組について』
『熱中症対策クーリングシェルターについて』
『家庭学習とICT活用について』

中島 國孝 議員

『多久市の農業について』

田淵 厚 議員

『近年発生する豪雨災害対策について』

坂口 絹代 議員

『子どもの医療費助成について』
『高齢者支援について』

彌富 博幸 議員

『鳥獣等による被害対策について』
『市内神社の文化財指定および
保全管理支援について』



議案質疑

提出された議案について、議案の提出者（市長か議員）
に対して、議案の内容や提案の理由などについて疑問点
や不明な点を探ること

坂口 絹代

■令和7年度からの
多久市定住奨励事業



Q 事業の内容と変更点は。

A

- ①子育て・若者世帯定住奨励金⇒基本額30万円から100万円へ増額。年齢要件の緩和。
- ②親元同居増改築補助金⇒利用実績が少なかったため廃止。
- ③空き家バンク利活用補助金⇒住民票を異動せず、購入のみでも補助の対象。
- ④移住子育て世帯家賃補助金⇒年齢要件の緩和。
- ⑤新婚世帯家賃補助金⇒変更なし。
- ⑥宅地造成支援補助金⇒変更なし。

⑦奨学金返還支援補助金（新設）⇒奨学金返還額の1/2（年上限12万円）最大10年間で補助上限額120万円。

Q 奨学金返還支援補助金の補助対象の要件は。

A 要件

- ①奨学金の貸与を受け返還している。
- ②多久市に住民票がある、29歳以下、就業している。
- ③10年以上
多久市に
居住する
意思がある。



中島 慶子

■障害者・障害児支援に
要する経費9,305万9千円
について



Q 障害者・障害児支援事業費増額の詳細は。

A

郵便料値上げに伴う役務費1万6千円と福祉サービスの扶助費9,304万3千円の増額分で、主に就労継続支援B型、共同生活援助、生活介護などのサービス利用増により8,075万7千円の増額。また、児童福祉法に基づく障害児通所支援事業の児童発達支援・放課後等デイサービスなどで、1,228万6千円の増額です。

Q 利用増による受け皿は大丈夫か。

A 市内に限らず近隣市町の事業所でも利用が可能であり、受け皿は整っていると考えます。

Q 障害児通所支援事業利用増の状況(人数)は。

A 未就学児が利用する福祉サービスの「児童発達支援（居宅訪問型児童発達支援を含む）」は9人増の39人で、602万8千円の増額。小学生から高校生までが利用する「放課後等デイサービス」は14人増の114人で、489万8千円の増額となっています。

